

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30 年 2 月 1 日
第 22 号

今年の目標は これだ！

先日、5・6年生の児童たちが校長室へやってきて、書写の時間に書いた「今年の決意を習字で」を見せてくれました。その数日前、半紙に練習をしていたのは知っていたのですが、本番は色紙に書き、落款まで押してあり、かなり立派に仕上がっていました。どうしてこの文字を選んだのか一人ずつ説明している姿を見ていると何とも頼もしくもあり、よく考えたなと感心させられました。実は私もかつて中学生に学級活動の中で「書き初め」と称して、この一年の抱負を漢字1文字で表して発表させたことが何度かありました。その頃のことも思い出し、何とも懐かしくもありました。以下にその文字を選んだ理由を紹介します。

福・・・友だちや家族が幸せになってほしいから

夢・・・夢を実現させたいから

結・・・自分の名前に使われているし、人とのつながりを大切にしたいから、

友・・・友だちを大切にしたいから

躍・・・大きく羽ばたきたい（飛躍）から

命・・・命を大切にしたいから

優・・・みんなに優しさをあげたいから

喜・・・みんなに喜びをあげたいから

絆・・・友だちとの絆を大事にしたいから

折れない精神（一文字ではありませんが）



※琉郁さんの写真がなくてごめんなさい

2月の予定

2日（金） ALT、SC来校、クラブ、第2回育友会役委員会 19:00～

4日（日） 紀南P連大会

7日（水） 花いっぱい運動 10:30～

8日（木） 食育指導

9日（金） ALT来校、児童会・委員会

10日・11日（土・日） 紀南の子ども作品展（木本小講堂）

17日（土） 土曜授業（親子でゴミ拾い 8:30～ 金竜橋、B&Gをスタートし入中へ）

19日（月） 歯みがき指導、人権フォーラム（5・6年生対象）、入鹿中入学説明会

20日（火） 5年生保護者会（育友会）19:00～

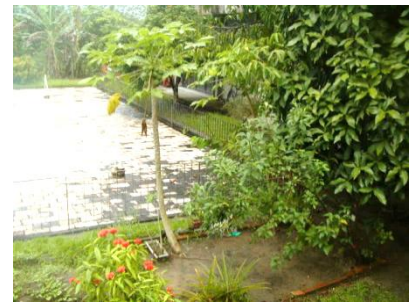
23日（金） ALT来校、クラブ、集金日

食べたあとのお楽しみ

果物の話の続きです。前回登場した果物の木は、私が赴任した時にはすでに植わっており、おそらく開校時からあったものだと思います。しかし、それとは別にあとから植えたものもありました。植えた張本人は、何を隠そう、私の娘です。みなさんもくだものを食べたあと、種をまいた経験があるでしょう。「種を植えたら木が育ち、もう一度実を食べることができる」と考えて植えてみませんでしたか。うちの娘もそのように考え、まず、パイアヤを食べたあとの種を学校のプランターに十数個植えてみました。上段の写真は植えてから数カ月たったころだったと記憶していますが、20～30cm程に育っています。ある程度育つかもしいとは思いましたが、この育ち方はまったくの予想外でした。



ところが驚きはこれで終わりではありませんでした。ある程度育ったところでいちばん元気がよさそうなものをプール脇に植えたのですが、帰国直前には中段の写真のように、上の方にパイアヤの実がなってきました。おわかりいただけるでしょうか。ここまで来るとまさに「木」で、高さは4～5mほどあります。たまたま食べた果物の種を植えたところ、立派な木に成長し、実までつけたのです。熱帯の植物の生命力には本当に驚かされます。



また、パイアヤがある程度育った段階でパイナップルでも実験してみました。葉がついているパイナップルを買ってきたら、まず、葉と実を切り分けますよね。葉の下には少しばかり実がついた状態で。この



少しばかりの実を土の中に植えて育ててみました。以前から派遣教員の間で、パイアヤもパイナップルもきちんと実をつけるらしいと話にはあがっていましたが、実際にした者はいませんでした。ならばと娘がしてみた次第です。下段の写真が育って実をつけたパイナップルなのですが、皆さんはパイナップルがどのような状態になっているかご存知でしたか。一般的な果物のように木になってぶら下がっているではありません。茎は上へ上へと伸び、その先端にいつも見る方向に実がなります。チューリップの花をイメージし、チューリップの花をパイナップルに変えていただければよろしいかと思います。この写真も帰国直前に撮影したのですが、パイアヤもパイナップルもこれくらい育つのに2年ほどかかったと記憶しています。インターネット上ではパイナップルは寒さ対策をすれば日本でも同じことができるとありますが、一度試してみたいかたがでしょうか。